

シンポジウム アジアにおける民主主義の後退と政治的分極化

【日時】 2024年7月27日（土） 15:00～17:30（14:30 開場）

【場所】 慶應義塾大学三田キャンパス北館ホール  ([キャンパスマップ](#) 10 番の建物)

【対象】 研究者、学生、一般（参加無料、[要登録](#)）登録は右のQRコードから



世界の多くの国で民主主義の後退が進むなか、政治的分極化がその一因とされています。これに関する研究はアメリカやヨーロッパで多く行われていますが、アジアでは比較的少ないです。本シンポジウムでは、2024年に選挙が行われた台湾、インドネシア、韓国、インドを中心に、選挙時の政治的分極化と民主主義の後退の関係について検討します。第1部では、JSPSの研究事業によるサーベイ結果をもとに、有権者の分極化と反民主的態度について報告します。第2部では、各国の専門家が2024年選挙と分極化・民主主義の後退との関係についてパネルディスカッションを行います。本シンポジウムを通じて、アジアにおける民主主義後退と政治的分極化の関係についての理解を深めることが目的です。

プログラム

15:00 — 15:10 開催趣旨説明

粕谷 祐子（日本学術会議第一部連携会員・慶應義塾大学法学部教授）

第1部 研究報告 15:10 — 15:50

2024年選挙時サーベイからみるアジア諸国の政治的分極化と反民主的態度

司会: 粕谷 祐子

報告: 三輪 洋文（学習院大学法学部教授）

第2部 パネルディスカッション 16:00 — 17:20

アジア専門家がみた2024年選挙 — 民主主義の後退は起こっているのか？

司会: 中田 瑞穂（日本学術会議第一部連携会員・明治学院大学国際学部教授）

登壇者: 磯崎 典世（学習院大学法学部教授）

小笠原 欣幸（東京外国語大学名誉教授）

水野 祐地（アジア経済研究所研究員）

湊 一樹（アジア経済研究所研究員）

17:20 — 17:30 閉会の挨拶

大串 和雄（日本学術会議第一部連携会員・東京大学名誉教授）

主催：日本学術会議政治学委員会民主主義の深化と退行に関する比較政治分科会

JSPS 課題設定による先導的人文学・社会科学研究推進事業

「偽情報と政治的分断に関する東アジア諸国を中心とした包括的研究」

後援：慶應義塾大学学事振興資金

問い合わせ：粕谷祐子 (ykasuya@keio.jp)

 Dis-Information
and Democracy
in East Asia

